

文教民生常任委員会が開催されました。朝8:30より現地視察として、次の視察を行いました。

①田沢小学校（体育館・プール） 建設現場

立派な体育館が出来上がろうとしています。オストメイト対応の身障者トイレも完備され、ここで運動できる子ども達は幸せだなと思いました。ここで剣道したいなあというのが正直な感想でした。プールは我社の施工ですが、良いものができたと思います。



②フォッサマグナミュージアム（ショップ・トイレ） 建設現場

ショップとトイレが増設されました。ほぼ完成に近づいき、糸魚川市の誇るフォッサマグナミュージアムが益々充実することは嬉しいことです。

③小滝軽運動場 建設現場

柏崎市では、地域コミュニティセンターには体育館が完備されています。

糸魚川市でも大和川公民館に軽運動室が設備されたことを始めとして、小滝軽運動場は小滝公民館に併設され、西能生公民館にも軽運動室が設けられます。健康づくりは糸魚川市にとって大きな課題です。ハードの整備と合わせて運動のソフト面の充実も不可欠です。

この後の大和川公民館ではそこを体験します。



④大和川公民館（健康運動教室参加）

いやあ～いい運動になりました。大和川地区のお母さん達と和気あいあいの中に、市の健康運動指導士が考案した、「いつでも どこでもだれでも」出来る「健康づくり体操」を行いました。日頃運動不足気味の市議会議員の面々も楽しそうに汗を掻いていました。

わたしは、前日の稽古で疲れ気味の体をリフレッシュできました。



⑤西能生地区公民館 建設現場

前述のように軽運動室を備え、消防格納庫を併設した立派な公民館です。市民活動の格となることでしょう。今後の活用が待たれるばかりとなっています。

現地視察終了後、委員会室において机上審査が行われました。主なものを取り上げてみます。

1. 教育環境と教育改革について

・改正教育三法の対応について

国の教育三法改革に伴う糸魚川市の今後の対応について説明がありました。

私は、①教育に関する事務の管理及び執行の点検、評価等

②学校評価と情報提供

③指導が不適切な教員の人事管理の厳格化

を取り上げ、評価制度が教員に負担にならない形での有効な管理手法を構築することをお願いしました。学校評価はすでに行われていますがその報告書は大変立派なものです。私はそのような立派なものはいらないのではないかと思います。もっと簡単に評価し改善に繋げていくシステムが必要です。PDCAシステムが有効に働くには、動かし易いシステムであることが条件になります。

2. ジオパークについて

・糸魚川市が日本最初の認定を目指している「世界ジオパーク」について説明がありました。

私からは、「なぜ糸魚川市はジオパーク認定を目指すのか」についての説明が不足しているので、まずそれを鮮明にし、市民に訴えていくべきだと話しました。

ジオパーク認定を契機として地域振興を目指すのであれば、どのような形での地域振興を想い描いているのかを明らかにしなければ、市民にアピールできませんし、市民を巻き込んだ地域振興運動に繋げることは困難でしょう。「なぜジオパークなの？もっと他にやるべきことがあるでしょう？」ということになってしまいます。

3. 医療、福祉制度について

・要介護世帯灯油代等助成制度について

対象者は3600世帯ですが、1/24現在の申請数は838世帯であり、約30%にとどまっています。周知方法についての注文もありましたが、私は、申請方法について意見を述べました。対象者の状況からいって簡単な申請方法が必要です。対象者には無条件に支給している市町村もあるようですので、電話だけでも受け付けるなどの相手の立場に立った対応が求められます。

4. 使用料の改定について

○市民会館 ビーチホールまがたま 青海総合会館

3市民会館の使用料が見直される方向が示されました。算定方法は、平均使用料を面積と時間に応じて算定したもので、当然1市2町時代とは使用料が変更になります。

ここで、青海総合文化会館「きらら」ホールの全日使用料が33,600円から44,900円に上がることを問題とする議員が出ました。しかし、今まで異なった料金設定を統一するのであるからやむを得ない部分もあります。

私が注目したのは、同じ「きらら」の料金表で時間単位の使用料は改訂前と大差ない設定なのに、全日（一日貸し切り）の料金だけが大きく上がっていることです。これは旧青海時代の料金設定が全日の料金を政策的に安く抑えていたことを意味しています。現教育委員会次長で当時の担当課長のY氏から「旧青海町では、政策的に料金を安くし利用率を上げようということでした。結果として県下2番目の利用率を達成していました。」と説明がありました。

私は、「今後、市民に説明し理解を求めたいというのであれば、その結果として見直す必要が生じたときには、過去の有効な政策をもう一度振り返って検討するように」要求し、委員長も委員会の方針として重ねて要求してくれました。過去の有効な施策をゼロにしてしまうのは愚かなことですし、今すぐ見直せとか、この案では駄目だとか言ったわけではありません。

一つの事柄を検討していくのに必要な思想的なことを言っているのであって、政策を検討するのに、過去のノウハウ、財産までをゼロに戻して検討するのではなく、再算出の根拠を明らかにする中で、過去の思想も整理して検討する必要があるでしょう。

それを行ったのであれば、そのように説明した上で理解を求めればいいわけです。委員会に報告して理解を求めているわけですから、そこで意見を交わし合い、相互理解を深めて良い方向を導き出していかねばなりません。

時間を掛けて検討した事務方に配慮した発言だったわけですが、「長い時間を掛けて検討した結果を議員一人一人の意見を聞いて見直すわけにはいかない」というある幹部の発言にはガッカリしました。

この方は「議会は敵だ」と思っているらしく、この発言以前にも、他の2議員の発言に対し、上から目線で失礼な発言をしていました。「議員は、事務方が時間を掛けて検討した案に対して黙って賛成すればいいんだ。」というふうにとれてしまう発言・態度には首をかしげざるをえません。

休憩中（正式発言とはならず、議事録に載らない）の発言で、穏やかにこちらの建設的考えを説明しましたが、「せっかく柔らかい言い方をしているのにそのようにきつぱったら、いい話にならないでしょう」という状態で、実りない残念な会議でした。

お互いに配慮のない話し合いからは何も生まれません。